

[越水対策] 改良積み土のう工

- 必要な ●資材 ■工具 ★人数 (1組10m当たり)
- 土のう110袋【前3段、後2段】
 - 鋼杭12本【 ϕ 16mm、長さ1.2m】
 - ブルーシート2枚【5.4×3.6m】
 - ひも(結束用)12本【 ϕ 9mm、長さ0.5m】
 - ハンマー2丁
 - ★必要人数20人



杭の打ち込み

鋼杭を、川側堤防斜面上端より0.5～1.0mのところ
に約0.9m間隔(シートのハトメ穴と同じ)に川の流
れに平行して上流より打ち込む。

1



シートの固定

シートをL形状に鋼杭に固定する。
固定はシートのハトメ穴を利用して約1mの高さに
「いぼ結び」で結束する。

2



シートの重ね合わせ

施工延長が長い場合、シートの重ね合わせをする。そ
の場合、下流側シートを上流側シートの内側(堤防居住
地側)に1m程度に重ねる。

3



概要

鋼杭とブルーシートを使って、前項の積土の工を改良・強化した工法です。水があふれるのを防ぐ対策としてよく使用されています。



シート張り

杭に沿うところで調整しながらシートがL形状になるよう張る。

シートのあおりを防止するため土のうを仮置きする。

★留意点：シートの天端が
一様となるよう施工する。



4



土のう積み

土のうをシート上に上流側より順次長手積みで、土のうのしぼり口を下流に向け並べる。

2段目、3段目は、積み終った土のうの継ぎ目に次の土のうの中央がくるよう積む。

次に控え土のうを、表土のうの後方堤防の居住側に土のうのしぼり口を堤防の居住側斜面に向けて小口積みで並べる。

2段目は1段目土のうの合わせ目の上にくるよう積み上げる。

5



川側から見た完成状態



居住側から見た完成状態

6

ナルホド!!

堤防上面をアスファルト舗装等していて、杭打ちが困難な場合、シートをそのまますし巻き状にする方法もある。



完成

7